

### III-5. エピローグ／見つめる少女

さて、私たちはここまで、古美術、近代絵画、漫画、アニメ、フィギュア、人形、現代アートといったさまざまなジャンルを横断し、少女の表象を見つめてきました。しかし、(とりわけ現代アートにとって)「見る」ということは必ずしも享受者の特権ではありません。

ここでは、画面のこちらがわにためらいなく視線を向けてくる少女たちを紹介します。その強い視線は、これまで「見る者」としての不躰なまなざしを「見られる者」としての少女たちに送ってきた私たち観客と切り結ぼうとする決意のあらわれのように見えます。あるいは、わたしたちとより生産的な関係を取り結ぼうと手をさしのべる視線のようにも見えます。それについては、この展覧会を通して多くの魅力的な少女たちと出会ってきた私たちひとりひとりが考えていこうではありませんか。(あらためて振り返ってみれば、「今日この会場でこれまで見てきた「描かれた少女たち」は、画面の向こうの私たちのことなどほとんど見ていなかった」という衝撃的な事実気づくはず)

美少女史  
の  
美術少女

～憧れと幻想に彩られた私たちの偶像～

美少女な  
ないない  
わんてい  
じゃけい  
じわん美